

まちの話題



6/18

水害への備え万全に 音更川総合水防演習

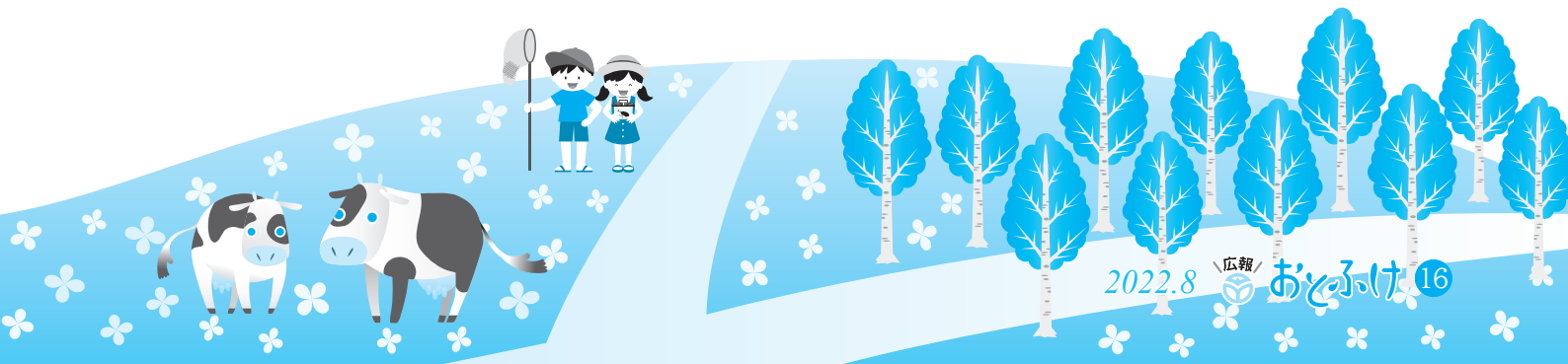
道開発局、道、管内市町村が主催する音更川総合水防演習が柳町地先の河川敷で開催され、十勝管内の消防署や消防団をはじめ、警察、自衛隊、地域の自主防災組織や学校、企業、団体など約1,000人が参加しました。演習では水害を時系列で想定し、水防工法、倒壊家屋や転落車両からの救助、警察ヘリによる救助や自衛隊ヘリによる物資輸送など大規模な訓練を行い、水防技術の向上と意識の高揚を図りました。



6/19

池上彰さんが講演 「学び」は「若さ」に

開町120周年と帯広大谷短期大学創立60周年の記念事業としてテレビ番組でお馴染みの池上彰さんが文化センターで講演し、450人が来場しました。池上さんは、新型コロナやウクライナ侵攻などの国際情勢や国の歴史を分かりやすく解説し、「好奇心を持って学び続けることが『若さ』を保つ秘訣。知識は点。色々な知識を結びつけて考えることが教養につながる。教養とは知識の運用力」と話しました。





日頃の努力の成果を披露
家畜品評会開催



第21回音更町家畜品評会が3年ぶりに家畜集出荷センターで開催され、乳牛28頭、肉牛19頭、馬7頭の出品がありました。主催した同実行委員会の遠藤雅彦会長は「日々改良に努力していると思うが今後も生産性向上に結びつけてほしい」とあいさつ。品評会では、乳牛（未経産・経産）、肉牛、馬の各部門で全8頭が最高位・準最高位を受賞しました。



思い出ノートで脳を活性化
女性ライフスクール講座



女性ライフスクール講座が共栄コミセンで開催され、23人が参加しました。講師に明治安田生命の小林秀幸さんを迎え、100の質問に答えることで自分の半生を振り返り、認知症の予防に効果がある「思い出ノート」を作成。学級長の松田咲子さんは「書くことで記憶が鮮明に思い出されてうれしかった。遠方の母にも勧めたい」と感想を話しました。



まちに花の彩り添える
フラワーシンフォニー



花で環境美化に取り組む町民サークル「フラワーシンフォニー」（塚田洋子会長、会員20人）は、役場庁舎前に音更高校提供の花プランターを設置しました。また、同日道の駅おとふけでも、音更高校農業倶楽部、ボランティア部と協力し、全部で60個のプランターを設置しました。塚田会長は「会員が楽しみながら参加していることがうれしい」と話しました。



道の駅おとふけが発着地に
ブルベトカプチ400



国が指定する十勝管内約400kmのコースを自転車で走破する「ブルベトカプチ400」が道の駅おとふけを発着地として開催され、町内外から38人が参加しました。「ブルベ」はレースではなく制限時間内に完走した人を認定するイベント。日高在住の久保紀幸さんは「とてもきれいな道の駅。初めて走るコースなので楽しみにしていた」と話しました。